

(平成30年1月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	<p>1月の青果物は、記録的寒波による大雪や日照不足が影響し、入荷量は前年同月比で6%下回った。天候不順の影響により下位等級品の割合が多かったものの、加工用需要の高まりから、単価は23%上回った。</p> <p>2月は、近郷野菜では、かぶらや丸大根等の漬物商材は終盤に差し掛かる。はたけ菜はピークを迎え、菜の花、からし菜等は徐々に最盛期に入ってくる。</p> <p>果実では、伊予かん、はっさくの入荷がピークを迎え、不知火や文旦が目立って増加する。清見オレンジやせとか、甘夏かんは徐々に増加し、いちご類も前月に引き続き増加傾向となる。</p>
野 菜	<p>野菜の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は27%上回った。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は55%上回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は67%上回った。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は9%上回った。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月並みであり、単価は17%下回った。</p>
果 実	<p>果実の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は9%上回った。</p> <p>柑橘類の入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は20%上回った。</p> <p>リンゴ類の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は7%下回った。</p> <p>イチゴ類の入荷量は前年同月で22%上回り、単価は4%下回った。</p> <p>メロン類の入荷量は前年同月比で17%上回り、単価は35%下回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	徳島，長崎を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で26%下回り，単価は107%上回った。
西洋ニンジン 【葉菜類】 ハクサイ	長崎を中心に千葉，鳥取，鹿児島等から入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は32%上回った。 愛知，岡山，和歌山，兵庫等から入荷された。入荷量は前年同月比で8%下回り，単価は82%上回った。
キャベツ ホウレンソウ	愛知，大阪，兵庫，和歌山等から入荷された。12月から単価高で推移しているため，市場への出荷が増加し，入荷量は前年同月比で7%上回った。また，加工用需要の高まりから単価も93%上回った。 徳島，福岡，茨城を中心に熊本等から入荷された。入荷量は前年同月比で31%下回り，単価は62%上回った。
レタス 【果菜類】 キュウリ	兵庫，徳島，岡山等から入荷された。台風被害後に植え付けたものが比較的順調に生育したため，入荷量は前年同月を19%上回った。また，一般消費需要は低下したものの，加工用需要が高く，単価は131%上回った。 宮崎，高知，徳島を中心に滋賀から入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は14%上回った。
ナス トマト	岡山，高知，福岡，熊本を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で12%上回り，単価は前年同月並みであった。 熊本，福岡を中心に京都から入荷された。入荷量は前年同月比で3%上回り，単価は3%下回った。
ピーマン	宮崎，高知を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で15%下回り，単価は32%上回った。

【土物類】

バレイショ
(メークイン含む)

北海道を中心に長崎，鹿児島から入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は46%下回った。

タマネギ

北海道を中心に兵庫，静岡から入荷された。入荷量は前年同月比で7%下回り，単価は7%上回った。

【その他野菜】

生シイタケ

徳島，岡山，広島，京都等から入荷された。入荷量，単価はともに前年同月並みであった。

主要品目（果実）	市況の概況
普通ミカン	和歌山を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は26%上回った。
イヨカン	愛媛から入荷された。栽培面積の減少が影響して入荷量は前年同月並みであり、単価は6%上回った。
サンふじ	青森を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は4%下回った。
王林	青森から入荷された。入荷量は前年同月比で28%上回り、単価は15%下回った。
イチゴ	福岡、大分、熊本、佐賀等から入荷された。入荷量は前年同月比で22%上回り、単価は4%下回った。
アールス	静岡、高知、熊本から入荷された。入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は32%下回った。